

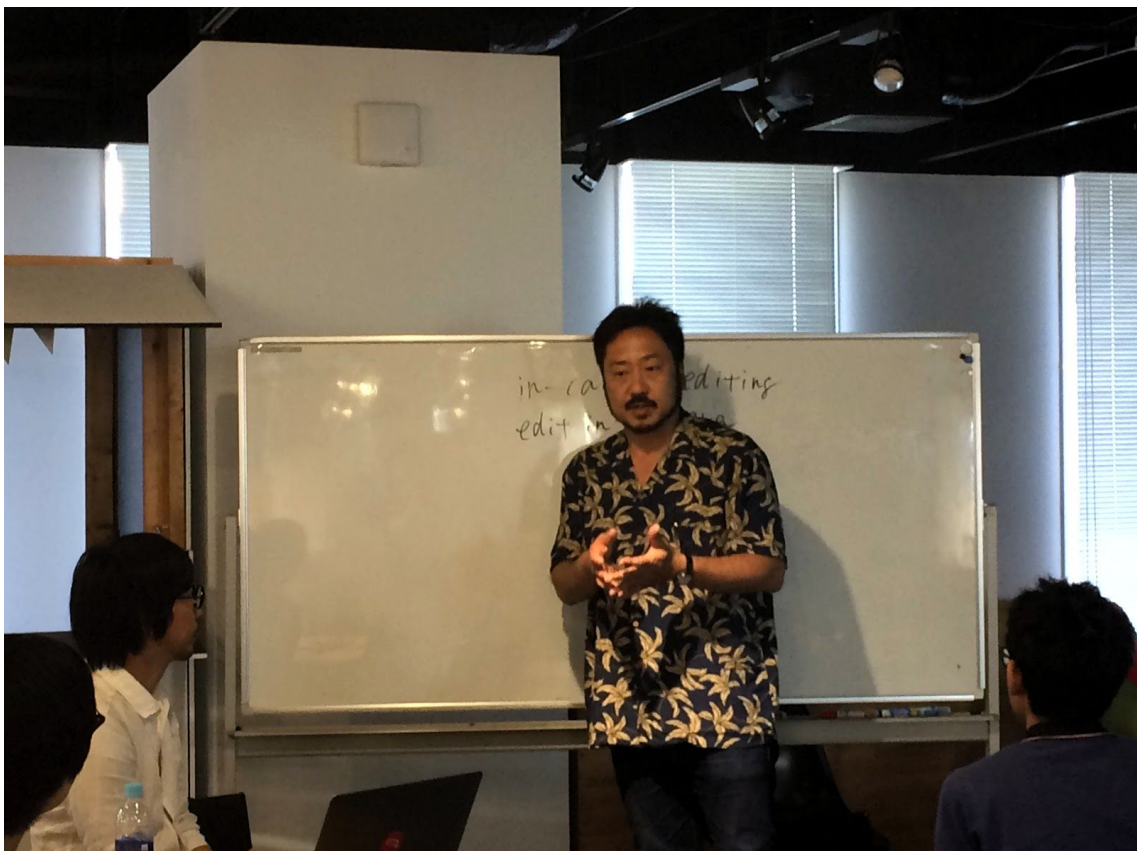
2017年度プロジェクト活動報告：場所・感覚・メディア

[研究概要]

このプロジェクトではセンサリー（感覚）メディアとしての写真や映像、サウンドによる表現にみられる「人と場所とのかかわり」を多角的に捉えなおし、人類学的なアプローチとも連携しながら新たな芸術表現の可能性を探っていく。フィールドワーク、勉強会を通じてあらたな芸術表現の方法論を探求し、作品制作、展覧会開催等により成果を発信する。

[活動内容、研究成果]

1) 2017年6月3日に国立民族博物館准教授の川瀬慈氏を講師に招き、映像人類学ワークショップ特別講義を開催した。学外からも2名の参加者があり、1年生4名、2年生2名の計8名の参加者があった。



2) 岐阜県美術館でのIAMAS ARTIST FILE #5での展示『場所をつくる旅』の関連企画として、2017年7月22日に管啓次郎氏（詩人、明治大学教授）、小林昌廣氏（IAMAS教授）を招いてトークイベントをおこなった。



3) 岐阜県美術館でのIAMAS ARTIST FILE #5での展示『場所をつくる旅』の関連企画として、2017年7月23日に伊村靖子氏（IAMAS講師）、西山恒彦氏（岐阜県美術館学芸員）とトークイベントをおこなった。



4) 岐阜県美術館でのIAMAS ARTIST FILE #5での展示『場所をつくる旅』の関連企画として、2017年7月30日に川瀬慈氏（国立民族博物館准教授）とトークイベントをおこなった。



5) 岐阜県美術館でのIAMAS ARTIST FILE #5での展示『場所をつくる旅』の関連企画として、2017年8月11日に松井茂氏（IAMAS准教授）、柳沢英輔氏（同志社大学助教）とトークイベントをおこなった。



6) IAMAS2018において、「場所・感覚・メディア」プロジェクトとして柳沢英輔氏をゲストアーティストに、エオリアンハーブの音色と風景を重ねる展示「金生山2018」を展示した。
(参加メンバー：柳沢英輔、具志堅裕介、湯澤大樹)

